

参院選で政権交代の足掛かりを

国会議員20年、「新自由主義」の転換求め徹底論戦

大阪梅田 大門参院議員（比例代表）の訴えから

5日、大阪梅田ヨドバシカメラ前で行われた「お披露目宣伝」での大門みきし参議院議員（比例予定候補）の訴えを紹介します。（大要、文責は近畿ブロック）

大企業・大金持ちを儲けさせ、貧困・格差広げた経済政策

私は、国会に来て20年ちょっと、一貫して「強い者が勝てばいい」「弱肉強食」「なんでも自己責任」という新自由主義と正面からたたかってまいりました。

最初は、2001年の小泉・竹中「構造改革」の時でした。竹中平蔵さんとは国会で54回論戦をしましたが、周りからは「天敵」とまで言われました。

そして、「アベノミクス」です。アベノミクスというのは、要するに金融マネーを動員して株価をつり上げ、大企業と大金持ちを儲けさせる、そういう経済政策でした。

この問題では、安倍晋三元首相、麻生太郎前財務大臣・金融担当大臣、そして、日本銀行の黒田総裁とくり返し議論し、アベノミクスの危険性を余すことなく追及してきました。

この20年余を振り返って思うのは、結局、新自由主義とは何だったのかということです。大企業だけ儲けさせて、株主だけ儲けさせて、庶民の暮らしを痛めつけた、その結果、格差と貧困を広げた。こういう経済政策だったのではないかと考えています。

「1億円の壁」 高所得者ほど税負担率下がるのはなぜ？

さすがに、岸田首相も、自民党総裁選の前には「もう新自由主義ではまずいのではないか」「格差を是正しなければいけないのではないか」と、いったんはその言葉を口にいたしました。

しかし、岸田首相は、のっけから腰砕け、「アベノミクス」を継承する新自由主義に戻ったわけでございます。その象徴が、総選挙のときに話題になりました、いわゆる「一億円の壁」という問題です。所得が一億円を超える人たちは、そこから所得税の負担率が下がっていくという問題であります。

おかしいですね、日本は累進課税のはずです。所得が増えたら、負担率も増えるのが当然のはずなのに、逆に下がっていく。これはいったい何なのか、という大問題です。



21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 51(2021.12.7)



この問題を私が最初に国会で取り上げたのは、今から14年前、2007年の参議院予算委員会でした。当時は、尾身財務大臣が担当でございました。尾身大臣に、「なぜ一億円を超えると税の負担が減るのか」と聞いたら「わからない」と言うんですね。だから教えて差し上げました。所得が一億円を超えるといる人たちはサラリーマンではない、株の取引で大儲けをしている大株主であります。その株取引の税金が「分離課税」といって、税率はわずか10%で済ませてあげている。だから、税負担がどんどん減っていくという現象を生んでいます。

当時、日本共産党の国会議員団は、この問題を繰り返し追及し、税率を10%から20%まで引き上げさせました。しかし、世界の標準は30%です。まだまだ負担が軽い。だから、高所得者ほど税率が下がるということが続いているんです。

岸田首相、総裁選「金融所得課税」掲げるも、 結局「腰砕け」に

私が作ったこのグラフ。今や財務省、OECD、そして選挙中はNHKの9時のニュースや朝のワイドショーでも取り上げて頂きました。細かいことを言うつもりはありませんが、著作権は私にございます。岸田さんも私が作ったグラフとは知らないで、総裁選挙の時に、「この負担が減ることを、何とかしなきゃいけない。金融所得課税を増やさなきゃいけない」、そう言ったわけですが、すぐに「腰砕け」になったわけがあります。結局、新自由主義の経済政策を継続するというところでございます。

自公政権は希望の見えない絶望の道 政治の大本を変える政権交代へ共産党躍進、たつみ勝利を

みなさん。今、新自由主義、この先進国であるアメリカやイギリスはどうなっているか。もう方向転換が始まっております。大企業や大金持ちに課税を強化して、その財源で国民のくらし社会保障を充実する、そういう新たな方向にすでに踏み出しているわけです。日本だけが、日本の自民・公明政権だけが、相変わらず大企業、大株主を優遇して、社会保障をズタズタにする、まったく希望の見えない絶望の道に進もうとしているわけがあります。

ですから私たちは、先の総選挙で、政治の大本を変える、この新自由主義を大もとから変えなければいけない、そのためにも「政権交代」が必要だと訴え抜いたわけです。力不足もあり、今回、政権交代を実現できませんでしたけれども、国民のみなさんの苦難を取り除くには、新自由主義を転換させるしかない、政権交代しかないというのは明らかでございます。ですから皆さん、来年の参議院選挙を足掛かりにして、次の総選挙では政権交代、今度こそ実現しようではございませんか。

そのために、この参議院選挙、日本共産党大きく伸ばして頂きたいと思います。比例代表で日本共産党、そして、この大阪選挙区では、たつみコータローさんを私たちの力で押し上げようではございませんか。

みなさんのお力添え頂きますようお願い申し上げます、私からの訴えとさせていただきます。